

（午後1時4分 再開）

○議長（上田順康君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。順番12、7番 清水信弘君。

〔7番（清水信弘君）登壇〕

○7番（清水信弘君）議長のお許しがありました。壇上より始めたいと思います。

まず、大雪を過ぎ、文字通りの木枯らしが我が地方特産の冬柿の病葉を散らし終え、来春やわやわの薄緑の新芽まで冬の装いの師走となりました。本年3月の合併以来、異常に早い月日が流れ、平成18年が過ぎようとしています。なぜか年齢を重ねるごとに早くなる時の流れも、今年についてはそれが特定できました。2006年8月、チェコのプラハでの国際天文学会連合総会は大注目でありました。その総会で、水星から始まる太陽系惑星のうち、冥王星が惑星の地位から外され、来年度の教科書からもその名が消えることとなりました。水金地火木土天海冥、受験に役立つのではと思い、高校時代にはそらんじていた、その実、何の役にも立たなかった英語名、マーキュリー、ビーナス、アース、マーズ、ジュピター、サターン、ユアラナス、ネプチューン、プルートから冥王星プルートが消え、星占いにまで影響があるとのこと。占いが学会に影響されるとは思ってもみませんでした。これら惑星の中で唯一石を持った奇跡の星、我が地球が驚き、公転を速めたのではないかと。

これより一般質問であります。

はじめに職員の採用につき質問いたします。高野口・橋本の合併がなり、この記念すべき平成18年度に市職員として採用されるフレッ

シュマンがいなかったことは、人員削減のためとはいえ、私個人的には大変残念に思うものであります。新職員と旧職員の間世代の断層ができないように、来年度はぜひ職員の採用があっただけを願っています。市民、町民に限らず、今や国民的な人気職業の一つとして公務員という職種が輝きを増しております。この職業をめざして予備校的な専門学校が大流行で、この職業につくのがいかに難しいかを示しています。ところが、いかに勉強して試験問題に向かい、一次試験は受かってみても、最終採用は縁故によるものが多く、その傾向は小さな公共団体ほど強いと言われてもおり、なるほどという事態もないとは言えないと思われま。

世に適材適所という言葉があります。適所であればだれでも適材であるのは理の当然で、その結果を採用試験で見つけることはかなり困難であると思います。採用試験とは人材を求めること、それにほかなりません。私論ですが、私における人材とは何か。適所でなくても適材たり得る人のことでもあります。学業ができることばかりが人材でないことはもちろん承知いたしておりますが、いわゆる学業ができる人ほどあらゆる場所での適応能力が高いのは当然、適所たる場が大きい、広いということになるのではと思います。能力の高い職員は橋本市の財産です。来年度の採用はそういう人を見つける採用試験であってほしいと思います。すなわち橋本市の採用試験につき、以下の質問をいたします。

1番、来年の採用人員は何名でしょうか。来年度の退職予定者は何名でしょうか。

2番、順を追って1次、2次等、採用試験の種類を教えてくださいたいと思います。

3番、過去10年の受験者及び合格者の人数を示してください。旧橋本市のデータで結構です。また、その方々の橋本市以外の出身地の職員の人数はいかほどですか。その比率もお答えください。

4番、面接は受験者を落とすためのものでしょうか。学業以外の人間性を見るためのものでしょうか。面接時には既に合否は決まっているものなのではないでしょうか。お答えあっていたら幸いです。

知人の子息が数年前、この市役所を受験しました。そのときの面接時間は他の受験者に比べて異常に短かったということでもあります。1次試験を受かった段階で、その知人は、この難しいとされる1次試験を突破したことを喜び、あこがれの公務員にいま一歩だと思って、ひそかに期待するものがあつたそうではありますが、面接の状況を聞いて既にあきらめておつたそうです。ゆえにこの質問に及んでいるわけではありますが、落とすための面接であるのなら、何もその面接に臨ませることはないのではないのでしょうか。例えば、1次試験で合否すれすれであつた受験者ほど丁寧に面接し、他の受験者よりすぐれた点を見つけ出すものであつてほしいと思うのですが、この点について当局の考えを伺いたいと思います。

5番、試験官はどういう方々で構成されているのでしょうか。大会社ほど採用試験、面接試験に社の代表者は立ち会わないもの。全国初好きの木村知事ではありませんが、全国初の採用試験に市長は一切関知しないという橋本市にしてみませんか。

次に、工場跡地等の利用計画について伺います。旧高野口町の地場産業である織物業の倒産が相次ぎ、倒産した物件の跡地利用が大きな課題となっています。これらの倒産物件は競売にかけられ、小さく区割りされ、建て

売り住宅として開発されたりはいたしておりますが、一部では工場や空き地が閉鎖されたまま放置、幽霊が出るかと思われるようになっていところも見かけられます。当然周囲の環境に悪影響、治安、火災等の問題も憂慮される状態です。いずれにしても、旧高野口町のように人口密度の高い小さなまちでの相当な面積を有した貴重な土地が、無秩序、無計画に使用されようとしています。この状態がこのまま続くことは、市としての今後のまちづくりや経済面等、将来計画において支障となることは歴然、これらの土地に隣接する周辺住民の不安感を払拭するためにも、市行政上の十分な配慮が望まれる状況と考えられます。

旧高野口町のように用途地域の指定のないまちで、利益第一の考えで開発されるとなると、その利益をほぼ自由に利用できる権利を有した土地であり、現時点では用途地域などの設定もない中で、行政としても規制、条件を課すことは困難と思われます。しかし、このまま放置すると、まち全体が収拾のつかない状況に発展しかねないと思います。

以下の質問に答弁を求めたいと思います。

1番、このような土地が何件あり、その状況はどうなっているのでしょうか。市として把握している課題、問題点を示していただきたく思います。

2番、当面する対策として、周辺環境を考慮した秩序ある利用計画を考え、土地所有者等関係者、旧高野口町都市計画審議会委員等の識者に協力を求めるべきであると思いますが、その考えはありますでしょうか。またそうであれば、その時期もお示しください。

3番、今後の課題として、用途指定を含め将来のまちづくりを展望した対策を講ずることが極めて重要と思われます。その計画があるのかをお聞きします。

以上、壇上より終わります。

○議長（上田順康君）7番 清水信弘君の一般質問に対する答弁を求めます。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）清水信弘議員の一般質問にお答えをいたします。

職員の採用は人材育成の出発点であり、人材を確保するための中心的な手段でありますので、常に公平性・透明性の確保に努めているところであります。

まず、1次試験におきましては、教養と適用の筆記試験を実施しており、募集人員に応じた合格者を得点結果の上位から決定しております。また、2次試験では、人物重視の姿勢を持って行っております。これは職員の採用が将来にわたっての極めて高価な投資であることから、単に知的能力の優秀さのみならず、人格面や身体、体力から公務員としての資質を見る一方、市民の負託にこたえることができる使命感や豊かな感受性などをあわせ持った人材の発掘に努めているからであり、短時間の面接ではありますが、常に面接委員をお願いしているところでございます。今後とも今まで同様、市長として公平・透明な試験を実施しつつ、優秀な人材の確保とその後の人材育成に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

なお、残余の件につきましては、担当参与よりお答えをいたします。

○議長（上田順康君）企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君）まず、来年度に採用試験を実施し、平成20年4月に採用を予定している人数は、先月にお示しした定員適正化計画にもありますように、医療職を除いて来年度の退職予定者数が13名であることから、5名の採用を予定しております。しかし、こ

の退職予定者はすべて定年によるものでありますので、来年5月に実施を予定している退職勧奨制度による退職者の人数が確定した段階で変更させていただく場合がございます。

次に、採用試験の種類でございますが、市長の答弁にもありますように、1次試験として筆記試験による教養試験と適性検査、2次試験として集団面接と個別面接を実施しております。最終的には健康診断と地方公務員法に規定される欠格条項に該当していないかを確認しております。

次に、過去10年間の採用人員及び受験者数でございますが、旧橋本市では医療職を除く募集したすべての職種合計で、採用者73名に対しまして2,092名が受験されております。平均倍率は約29倍であります。また、73名の合格者のうち市外出身者は24名であり、比率では約33%であります。

次に、試験官の構成についてでございますが、一般事務で申し上げますと、面接試験の意義を踏まえ、通常外部委員を含む6名の面接委員で委嘱、または任命して実施していただいております。

以上でございます。

○議長（上田順康君）経済部長。

〔経済部長（仲 完治君）登壇〕

○経済部長（仲 完治君）工場跡地等の利用計画についてお答えいたします。市として把握している旧高野口町で、織物工場であった物件が、その後の利用計画がない件数は9件です。状況は議員ご指摘のとおりです。市としては、これらの土地、建物の有効活用を図ることが課題です。そのため工場、遊休地、貸し工場、貸し倉庫について、所有者本人から申し出のあった物件について、企業誘致等で紹介をしていますが、有効活用に至っていません。当面する対策についておたがいますが、物件が点在しており、一つの土地利用計

画としてまとめることが困難であり、今後の検討課題とさせていただきます。

合併後におけるまちづくりの課題として、総合的な整備・開発・保全や都市の健全な発展と秩序ある政治を図るまちづくり計画を行うためには、旧高野口町域の都市計画区域と旧橋本市都市計画区域の二つの都市計画区域の一元化を図る必要があります。また、将来のまちづくり計画については、新市長期総合計画の策定後、都市計画マスタープランを策定し、その中でそれぞれの区域の土地利用計画により用途地域を定めることとなります。なお、新市長期総合計画策定については、平成18年度、19年度の2カ年で策定する予定となっています。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（上田順康君）7番 清水君、再質問ありますか。

7番 清水君。

○7番（清水信弘君）なしで終わろうと思ったんですけども、1番の4番なんですけども、面接時間が異常に短かったというのは、どういうふうに理解したらよろしいのでしょうか。

○議長（上田順康君）7番 清水信弘君の再質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

○議長（上田順康君）企画部長。

○企画部長（吉田長司君）私どもとしまして、1年ちょっと過ぎた中で、どの面接がということが認識されませんが、私どもになりまして面接試験があったわけでございます。それで、それにつきましては、短くても20分、30分を平均として、1人当たり30分程度ということで考えてやっております。今後もそのような形で1人だいたい30分程度というような形で進めたいと。人の数にもよりますが、そういう考え方でおります。

それで、過去のことについては、どれがど

うやったというのは私どもの知識の中にございませんので、答弁できないような状態でございます。

○議長（上田順康君）7番 清水君。

○7番（清水信弘君）今後、そういうふうにはちゃんとしてやっていただきたいと思うんですけども、1次試験の合格者を全部張り出すことはできないんですか。公表できないんですか。

○議長（上田順康君）企画部長。

○企画部長（吉田長司君）この場で即答できませんけれども、これは他市と言ったら怒られますけども、1次試験の段階で公表したというのを聞いたことがございません。そういうことで一度研究はしてみますけれども、最終の結果が出てからの公表というふうになるかと思っております。

○議長（上田順康君）7番 清水君。

○7番（清水信弘君）できますれば、受験番号だけでも発表していただければ、1次は何名合格したんだなということがわかっていいと思いますので、ご検討願いたいと思います。質問を終わります。

○議長（上田順康君）これをもって、7番 清水信弘君の一般質問は終わりました。